



# 首都圏自然歩道

ガイド番号  
**5-5**  
2015年版

# 関東ふれあいの道

神奈川県コース

## 12 丹沢山塊東辺のみち

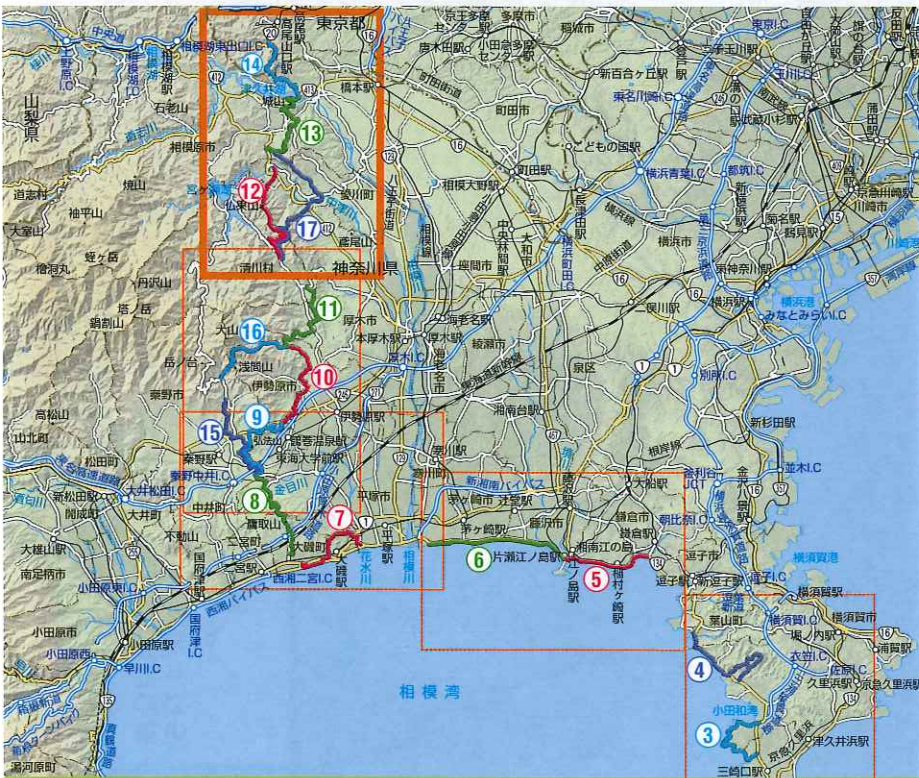
## 13 山里から津久井湖へのみち

## 14 峰の薬師へのみち

## 17 北条武田合戦場のみち



14番コース 三嶋神社



# 神奈川県

## 12 丹沢山塊東辺のみち

11.3km 所要3時間45分

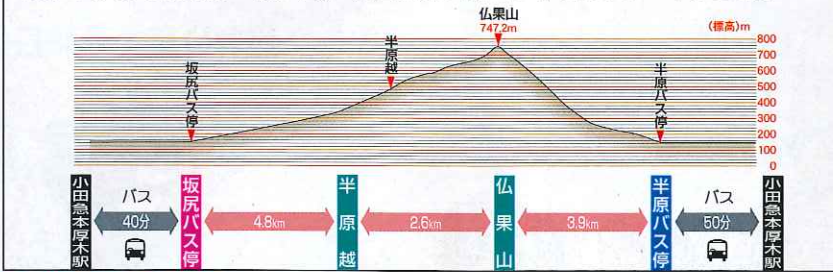
丹沢山塊の東に位置する仏果山に登り、山頂からの大展望と森林浴を楽しむ山岳コースです。

このみちは

仏果山山頂の展望台

坂尻バス停から法論堂林道に入り雑事場橋、山ノ神を過ぎ川沿いに進みます。途中左への山道は、昔の宮ヶ瀬道です。四方を山で囲まれる中に法論堂の集落があり、さらに山腹を蛇行しながら林道を進むと後方に相模野、遠く高麗山、相模湾が見えてきます。そこが半原越です。右手登山道は経ヶ岳への道、下り林道は愛川町に抜け、途中堀川滝、清雲寺へ寄ることもできます。道は左の尾根に登り、後方に丹沢山塊と大山の眺望が楽しめる展望所へと続きます。ここから仏果山までの道はきついですが、その分、尾根歩きの良いさがあります。仏果山頂からの眺めは、西に塔ノ岳、丹沢山、蛭ヶ岳、姫次、黍殿山、北に陣馬(陣馬)山が連なります。東は東京、また眼下には芦ノ湖に匹敵する2億トンの水をためる「宮ヶ瀬湖」が一望でき、これまでの疲れは吹きと喜びを体感させます。仏果山頂後に馬酔木(あせび)のトンネルを一気に半原の集落に下ると、途中県立愛川ふれあいの村があります。年間を通じ野外研修や宿泊施設の場として使われています。集落の中を進み、国道412号線をくぐり指導標識に従って半原バス停へ到着です。

起点⇒愛甲郡清川村煤ヶ谷：坂尻バス停(小田急本厚木駅から上煤ヶ谷行、宮ヶ瀬行バス40分)  
終点⇒愛甲郡愛川町半原：半原バス停(小田急本厚木駅・厚木バスセンターへバス50分)



### 現地の問い合わせ

清川村産業観光課 ☎046-288-3864 神奈中バス厚木営業所 ☎046-241-2626  
愛川町商工観光課 ☎046-285-2111

## 13 山里から津久井湖へのみち

10.3km 所要3時間

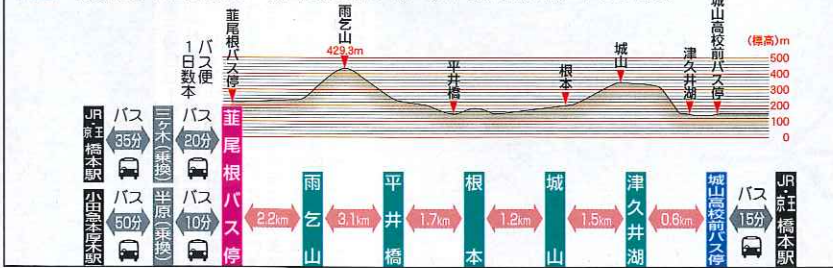
津久井の山里の風景を眺めながら、中世の山城の遺構・城山に登り、津久井湖の展望を楽しむハイキングコースです。

このみちは

城山山頂の築井古城記の碑

半原バス停から日向橋を渡って進むと国道412号に出るので、右に曲がり国道を2km弱進むと葦尾根バス停に着きます。葦尾根バス停を後に国道に沿って少し南へ行くと案内標識があります。ここでルートを確認すると、道は国道と別れて畑や民家の散在するのどかな山里の道となります。子牛が遊ぶ東京農工大学の農場の中を通ると、いよいよ道は雨乞山へのやや急な登りとなり、コナラやクヌギなどの雑木林を抜けると、路傍サインの設置されている尾根道に出ます。尾根道を鋭角に左折して人工林の中をしばらく登ると、雨乞山山頂です。木の葉の間より丹沢の山並みをわずかに左に見て、起伏のあるやや急な坂道をしばらく下ると、稲生の桜山への分岐にでます。分岐を後にさらに坂道を下ると、根小屋の集落や城山が一望できる明日原(あしたはら)の耕作地にでます。串川を渡り県道を横断すると、道は根小屋の集落を通り県立津久井湖城山公園の根小屋地区駐車場にでます。諏訪神社横の城山登山口から登り始めます。ここより鎌倉時代の三浦氏、戦国時代の内藤氏の居城として知られている城山への山道をしばらく登ると十字路の尾根に出ます。ここを左折して進むと城山山頂です。右折して飯縄神社を過ぎると、道は下り坂となり、途中中が池や紅葉台を通り城山の山腹を巻きながら進むと津久井湖城山公園・花の苑地前にでます。津久井湖を左に見ながら城山ダムを渡り少し行くと終点城山高校前バス停に着きます。

起点⇒相模原市津久井町長竹：葦尾根(にろうね)バス停(小田急本厚木駅・厚木バスセンターから半原行バス50分乗換開経由三ヶ木行10分)  
終点⇒相模原市城山町城山：城山高校前バス停(JR・京王橋本駅へバス15分)



### 現地の問い合わせ

相模原市津久井地域経済課 ☎042-780-1405 津久井神奈交バス津久井営業所 ☎042-784-0661

## 14 峰の薬師へのみち

7.1km(神奈川区間4.0km 東京区間3.1km) 所要2時間30分

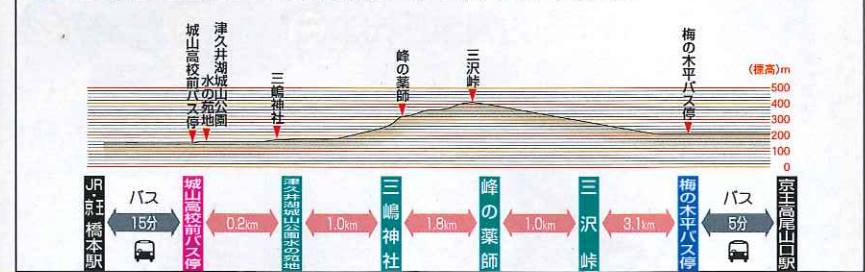
峰の薬師の歴史にふれながら、津久井湖や丹沢山地の展望を楽しみ、東京都に至るハイキングコースです。

このみちは

峰の薬師(鐘撞堂)

城山高校前バス停を後に、国道からダム管理事務所の角を曲がりここから約1,400m程は県道沿いのみちです。左手に津久井湖城山公園・水の苑地を見て県道を進みます。途中、コースの近くには三嶋神社があります。上中沢バス停より県道と別れると、すぐに案内標識があります。ここでルートを確認すると、道はいよいよ峰の薬師へのやや急な登りとなり、樹齢を越した杉木の中を蛇行しながら進むと、やがて峰の薬師です。この路傍休憩地からは、樹間を通して眼下に青く静かな津久井湖、それにそそぐ相模川の清流、遠く丹沢の山並みが眺望できます。ここより静かな雑木林の中をゆっくり進むと都県境の三沢峠です。途中峰の薬師奥の院や電波塔を過ぎると、右手下で城山湖が見えます。三沢峠からは東京コース湖のみちを尾根沿いに進んで城山(小仏城山)へ向かうことができます。三沢峠で右折して林道を下りきると、国道に出ます。そこが終点梅ノ木平バス停です。梅ノ木平バス停から国道20号線を1.5kmほど下ると京王高尾山口に至ります。

起点⇒相模原市城山町城山：城山高校前バス停(JR・京王橋本駅から三ヶ木行、城山行バス15分)  
終点⇒八王子市南浅川町：梅の木平バス停(京王高尾山山口駅へバス5分)



### 現地の問い合わせ

相模原市津久井地域経済課 ☎042-780-1405 津久井神奈交バス津久井営業所 ☎042-784-0661  
京王電鉄バス八王子営業所 ☎042-642-2241

## 17 北条武田合戦場のみち

16.2km 所要5時間30分

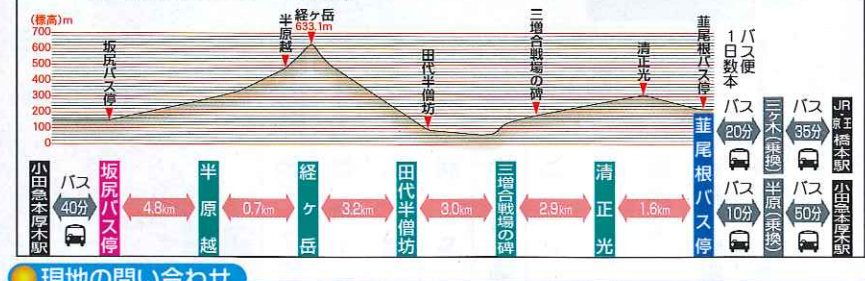
半原越、経ヶ岳の展望を楽しんだあとは、今はのどかな山里になっている古戦場を歩き戦国時代に思いを馳せるコースです。

このみちは

三増合戦場の碑

坂尻バス停をあとに、法論堂(おろんど)林道を半原越へ、昭和の初期までこの道は煤ヶ谷から半原へ『まゆ』を背負った人たちが通った重要な道でした。この半原越から、左へ登ると仏果山ですが、経ヶ岳は右へ登ります。急な木段を150mほどで快適な尾根歩きとなり、丹沢の山並みを眺めながらくさり場を登ると、大きな岩(経石)が道をふさぐように座っています。この経石をすぎるとまもなく経ヶ岳山頂です。山頂より50mほど行くと関東平野がはるか遠くまで広がり、新宿副都心の高層ビル群を間近に見ることが出来ます。これより眺めの良い尾根歩きとなり、法華峰(ほっけみね)林道へ、100mほど林道を行くと、道は植林の中へと入り、道ノ入えん堤を越え、国道412号平坂へとつながります。国道を500mほどで半原越前バス停に、目の前には大きな杉木立に囲まれた勝楽寺(田代半僧坊)があります。半僧橋の下を通り、県道を横断すると海底(おぞこ)の集落、中津川に架かる角田大橋を渡り、左手に弁天社を見ながら戸倉の集落へと入っていきます。大きく育った杉林の中をしばらく登ると、志田原にでます。畑道をしばらく歩くと北条武田の激戦地、三増(みさせ)合戦場の碑が見えてきます。桜並木を通り道は志田峠へ、ここより400mで清正光(志田山朝日寺)、東京農工大学の牛舎の子牛を眺めながら桑畑、牧草地を通り、再び道は国道412号へ、100mで終点葦尾根バス停に到着です。

起点⇒愛甲郡清川村煤ヶ谷：坂尻バス停(小田急本厚木駅から上煤ヶ谷行、宮ヶ瀬行バス40分)  
終点⇒相模原市津久井町長竹：葦尾根(にろうね)バス停(半原行バス10分、乗換小田急本厚木駅・厚木バスセンターへ50分)



### 現地の問い合わせ

清川村産業観光課 ☎046-288-3864 神奈中バス厚木営業所 ☎046-241-2626  
愛川町商工観光課 ☎046-285-2111 津久井神奈交バス津久井営業所 ☎042-784-0661

※ 関東ふれあいの道神奈川コースの概要及び踏破認定制度については、ガイド番号5-2を参照下さい。